



佐渡市

社

協

だ

よ

り



第161号

令和2年
11月10日発行



【特集】

災害ボランティアセンター

…2ページ

まるっとふくし……………4ページ

ボランティアコーナー…5ページ

みつけて応募……………7ページ

輝く島のねずみ年さん…8ページ

編集・発行

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会

佐渡市畠野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156
<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

被災者に寄り添う気持ちが集まる場所

災害ボランティアセンター

佐渡市社協だより

被災者に寄り添う気持ちが集まる場所

災害ボランティアセンター

佐渡市社協だより

災害ボランティアセンター



1995年の阪神淡路大震災以降、

大規模な災害が発生した地域に全国からボランティアが集まり、被災者の生

活の復旧と被災地の復興を支える活動

が行われるようになりました。そして、

その力を最大限に発揮してもらつため

の組織が、今回お伝えする「災害ボラ

ンティアセンター（以下、災害VC）」

です。

全国的に、被災地の地元社協が市町村等からの要請を受けて災害VCを立ち上げることが多く、佐渡市でも私たち佐渡市社協が立ち上げて運営するところになっています。

「なぜ、なぜ災害時の対応に社協が登場するのか、皆さんに疑問に思いましたか？」これには、次のような理由が挙げられます。

① 社協は普段から地域の方々と接し、困りごとの解決に向けて取り組んでいるから。

② 社協は福祉に関する相談機関として、また福祉サービスの事業者として、地域で活動しているから。

③ 社協は日頃から行政や幅広い機関・団体と連携しているから。

今年は新型コロナウイルスの影響で、日本各地の災害被災地でも混乱が発生しています。コロナ禍の状況では、感染症の拡大防止のため、これまでのように県をまたいで広くボランティア活動への参加を呼びかけることは避けざるを得ません。しかしながら、それを理由に活動を行わないといふことではなく、様々な対策を行いながら被災された方々を支える必要があり、ボランティアの募集に当たつても慎重な検討と判断が求められています。

つまり、地域の方々とのつながりや関係機関とのネットワークが社協の強みであり、それが災害時に活かされるところです。また、災害VCはボランティアのためのセンターではなく、被災した地域住民のためのセンターであり、地域の支え合いを支援するセンターとも言えます。例えば、「近所の方の手助けをしたいが道具がない」といった場合には、災害VCから道具を貸し出すことによって住民同士による助け合いが成り立つと思います。私たちが事あるごとに重要性を訴えている「地域の支え合い・助け合い」は、災害時にもその困難を乗り越えるための柱になるものではないでしょうか。

昨年の佐渡市総合防災訓練における災害ボランティアセンター設置運営訓練の様子



ボランティア受付



受付の列に並ぶ参加者

特に離島である佐渡では、島外からのボランティアの受け入れを制限するとなると、必要とする支援に対してもボランティアの絶対数が少ないことが予想されます。状況によっては島内の住民によるボランティア活動だけで何とかしなければならないかもしれません。

では、佐渡において、どのような取り組みが必要になつていいのでしょうか。その鍵は地域の皆さんが握っているかもしれません。

災害ボランティアセンター 一連の流れ



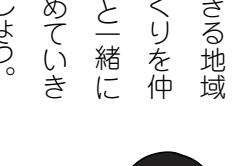
※ボランティア登録と保険加入については、できる限り事前に行っておいてください。

皆さんば、隣近所の方々を「存じで
すか?普段から近所の方の顔や家族構
成をはじめ、高齢者や身体の不自由な
方について知つておいで」と、避難の際
に声を掛けたり、避難先で「○○さん
がいない」と気づいたりする「」とがで
きます。たとえ自分で助けに行く」と
ができなくても、情報を誰かに伝える
「」とで、その方を救う「」ができるか
もしれません。

皆さんば、隣近所の方々を「存じで
すか?普段から近所の方の顔や家族構
成をはじめ、高齢者や身体の不自由な
方について知つておいで」と、避難の際
に声を掛けたり、避難先で「○○さん
がいない」と気づいたりする「」とがで
きます。たとえ自分で助けに行く」と
ができなくても、情報を誰かに伝える
「」とで、その方を救う「」ができるか
もしれません。

災害に強い地域づくりのためには、普段から災害や災害ボランティアについて学んでおくことも大切です。私たちが実施している「災害ボランティア講座」や「ふくボラ講座（災害編）」は、普段からの備えとして地域でやれることを考えたり、自分の住んでる地域にはどのような危険性があるかなどを考えたりする内容になります。個人、集落、事業所でぜひ活用ください。

災害はいつ発生するか分かりません。「あの時こうしていればよかつた…」と、災害が発生してから考えるのでは遅いのです。「困った時はお互い様」の気持ちをもつて田畠からのつながりと助け合いを大切にし、災害時にも対応できる地域づくりを仲間と一緒に進めていきましょう。





まるっと ふくし

各地で開催した事業や、新たに誕生した茶の間やサロンの様子をお伝えします。

しながら運営している様子を伺うこと
ができました。コロナ禍の中、今まで
どおりの運営は難しいかもしません
が、今だからこそ集まれる場を大切に
していきましょう。



南部3地区 サロン・茶の間スタッフ交流会

新型コロナウイルスの影響で、サロンや茶の間にも新しい運営方式が求められています。「コロナ禍でどのように活動したらいの?」という悩みを解決するため、8月25日（火）に交流会を開催しました。3密にならない脳トレやクイズを紹介した後は、現在の状況や活動の悩みについて意見交換を行い、「こんな活動ならできるかな」とそれぞれが工夫

新型コロナウイルスの影響で、サロンや茶の間にも新しい運営方式が求められています。「コロナ禍でどのように活動したらいの?」という悩みを解決するため、8月25日（火）に交流会を開催しました。3密にならない脳トレやクイズを紹介した後は、現在の状況や活動の悩みについて意見交換を行い、「こんな活動ならできるかな」とそれぞれが工夫



サロンスタッフ研修会(西津)

9月15日（火）、各いきいきサロンのボランティアスタッフの皆さんにお集まりいただき、「感染症対策」や「今できるレクリエーション」など、コロナ禍で直面しているサロン運営についての研修会を開催しました。それぞのサロンでの工夫についても共有しこれからの運営に向けたヒントを得ることができた様子でした。また、



健康体操や脳トレなどの場面ではマスク越しに笑い声も聞こえ、楽しい時間を過ごすことができました。

利用者の方が安心して気持ちよく利用できるよう願うボランティアの方々の温かい想いが伝つてくる講座でした。参加者の皆さん、お疲れ様でした。

しながら運営している様子を伺うこと
ができました。コロナ禍の中、今まで
どおりの運営は難しいかもしません
が、今だからこそ集まれる場を大切に
していきましょう。

今月の 表紙

運転ボランティア フォローアップ講座 (佐和田)

9月25日（金）、運転ボランティアフォローアップ講座を開催しました。

相川地区に新しく配置した車両の操作方法について説明し、一人ずつ体験しながら今までの車両との違いについて細かく確認しました。その後、日頃の活動の様子や課題を話し合い、「バッ

クドアはやさしく閉めないと利用者の方が風圧で驚くので注意したい」「活動手順を忘れないように自分なりのチェックシートを作っている」など、皆さんの想いや工夫をお聞かねると

Q 収集ボランティアに協力つきありがとうございます。それの回収先については次

とおりです。

リンクブルやペットボトルキャップ(エフキャップ) キャップベルマークがあるのですが、どこへ持つて行つたら良いですか。



読者の皆さまから
寄せられた
質問にお答えします

❖ベルマーク
ベルマーク運動に参加できるのは
保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校などの「学校単位」と
なつていますので、お近くの学校等にお問合せください。

有限会社 麻布組
所在地：佐渡市吾郷1-843番地2
受付時間：8時00分～17時00分
(毎曜日～金曜日)
お問合せ：27-36621

❖リンクブル(フルタグ)
両津地区の有限会社 麻布組様が
回収されています。左記まで
お問い合わせください。



ボランチャコーナー

ふくボラ講座つてなあに？

(福祉ボランティア講座)

ボランティアセンターでは、島内の企業や事業所、集落などを対象に、福祉やボランティアをテーマにした講座を行っています。

★講座のプログラム例

- ・高齢者疑似体験（約90分）
- ・認知症サポーター養成講座（約90分）
- ・災害ボランティアについて（約60分）
- ・障がいの理解（約60分）



●取講された企業へ インタビュー

◆答えてくださった方

中野建設工業株式会社

安全衛生担当 中原 輝彦 様

◆受講したプログラムは何ですか？

「災害ボランティアです。」



◆受講の理由を教えてください。

「当社では例年、教育訓練の一環として、火災や地震などの防災に関する講習会を行っています。今回は少し違った観点から、災害ボランティア活動や、このところ頻発している災害に対する捉え方などを多方面に渡って学びたいと考え、受講しました。」

◆受講してみて、いかがでしたか？

「災害ボランティアにも種類があることや、その現状について知ることができました。また、災害時に必要な非常持ち出し品の確認や非常食の試食など、日頃からの備えの大切さも学びました。参加者にも十分に役立つものであったと思います。」

中野建設工業(株)様、
ありがとうございました。



24時間テレビ チャリティー募金 募金額のご報告

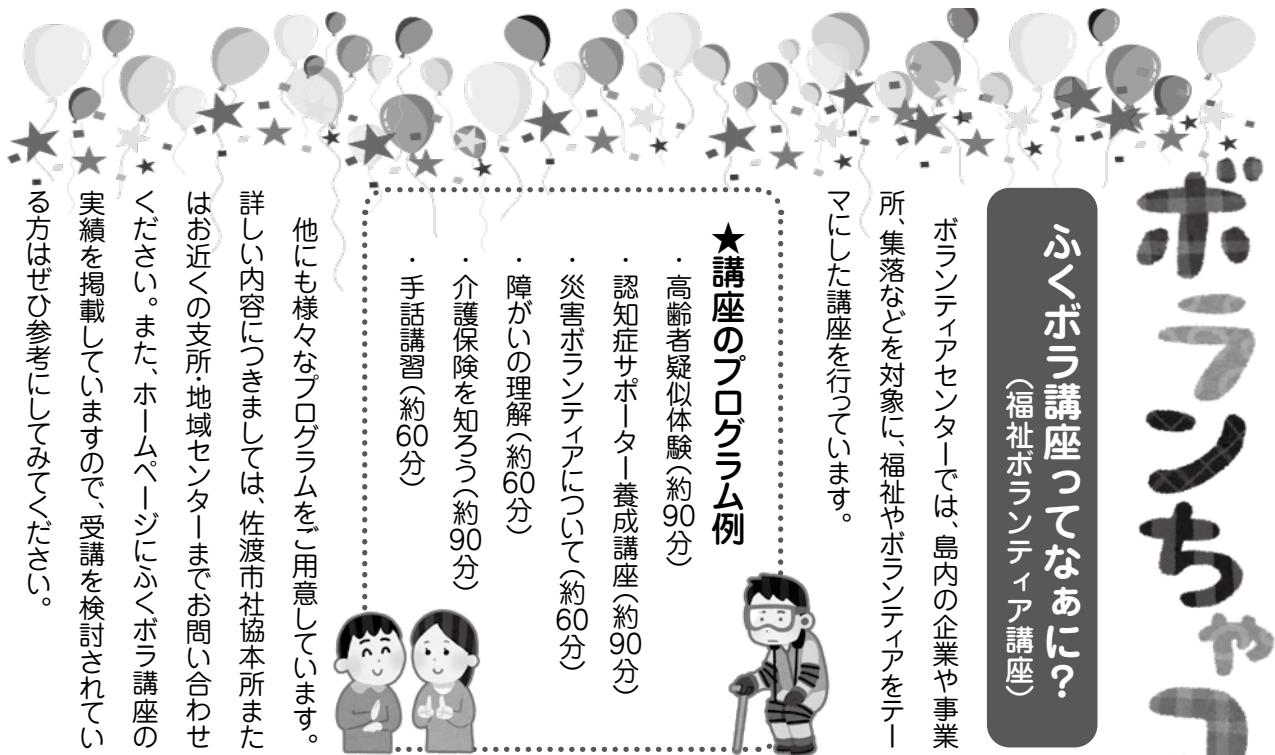
今年も24時間テレビチャリティー募金を実施しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、街頭での募金は行わず、社協の各窓口で募金の受付を行うという初めての形式でしたが、多くのご協力をいただきました。

募金総額

35,614円



皆さま、
ありがとうございました！



お近くの支所・地域センターまでお問い合わせください。また、ホームページにふくボラ講座の実績を掲載していますので、受講を検討されている方はぜひ参考にしてみてください。

ボランチャコーナーに関するお問合せは 佐渡市ボランティアセンター ☎ 81-11155



あたたかびご寄付を ありがとうございます

令和2年8月16日～10月15日(受付順)

タオル24枚、枕、掛布団カバー、他

1,000円

座布団10枚

テーブル衝立

1万円

「じいぶき」60kg

木下
三男三郎 様(鷺崎)

和田
フミ 様(金井新保)

リハビリパソツ4袋、おしほりタオル60枚、
タオル10枚、オムツ用布1反

1,000円

「シヒカリ」150kg

菊池
實様 ご遺族 様(両津福浦)

タオル41枚、手ぬぐい10枚

箱ティッシュ60個

玄米150kg

1,222円

両津地区鷺崎の木下様から、
テーブル衝立の寄付をいただき
ました。両津デイサービスセン
ターへんぞうでの新型コロナウ
イルス感染予防対策のために、
施設に合わせて製作してくだ
さったものです。

大切に使用させていただきま
す。ありがとうございました。

赤泊婦人会 様
武井 勇 様(羽茂大橋)

内田商店 様
堺よキティー募金 様(相川一町目裏町)

匿名
匿名(新穂瓜生屋)
紙オムツ、タオル
5万円
玄米30kg

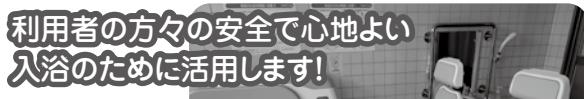
マジック6本、詰替用インク3本

支え合いの花



ありがとうございます、赤い羽根

このたび、新潟県共同募金会の助成を受けて、デイサービスセンターでの入浴介護に使用するライナーリフト1式と、地域福祉事業に使用する車両1台を整備しました。赤い羽根共同募金にご協力くださった皆さまからの贈り物ととらえ、大切に使用させていただきます。



島内各地で開催する事業等で活躍します!



心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



イラストボランティア 菊池 敏さん（小木）

上の「イラスト」には、ちがいといがが5か所あります。
イラストをよく見直して、ちがいのあるところを
アルファベットでお答えください。

A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L
M	N	O	P

みつけ応募！

やあみよう！

【応募方法】

ハガキに問題の答えの他、必要事項を記入の上、左記宛先までお寄せください。

締切：12月4日（金）必着

※記入いただいた個人情報は適切に管理し、景品の発送にのみ使用させていただきます。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
※記入いただいた質問や感想を紙面上に掲載させていただく場合があります。ご承諾下さい。

宛先	〒952-0206
	佐渡市畠野甲533番地
記載内容	佐渡市社会福祉協議会
	社協だより担当者 行

問題の答え・氏名（ふりがな）
・住所・電話番号・年齢
・社協だよりへの「」意見・「」要望など

【前回の答え】

160番の答えは

「⑧あさなず」でした。

ご応募くださいました皆さま、ありがとうございました。

◎今月は正解者の中から抽選で5名様に、
新穂地区「愛らんど新穂」様の「しあわせこがねもち」をプレゼントします。

社協だよりへの「」意見・「」要望などを添えて、どんどん応募ください！

★子年の皆さんの趣味や楽しみ、健康の秘訣を教えます★

輝く島のねずみ年さん

★自薦他薦を問わず、元気な子年の方を募集しています。応募が集中した場合はご期待に添えないこともありますので、ご了承くださいますようお願いします。



たかの 高野 みえ 三枝さん 畑野地区
昭和11年生まれ

介護予防教室に参加して脳トレや体操をしたり、田畠の作業をしたりして、健康づくりをしています。また、新聞や本を読むことが好きで、さまざまなお情報を得ています。また、新聞俳句を詠むことも趣味として長く続けています。近所の友だちと行き来しながら、いろんな話をしても楽しめます。今の健康に感謝して過ごすのも楽しめの一つです。今後も楽しく生活していきたいです。



ほたか 穂鷹 義明さん 両津地区
昭和11年生まれ

学生時代にフィールドホッケーをやっていた名残りで、毎日のラジオ体操や腹筋、スクワット、ウォーキングを25年間続けています。そのおかげで、朝から晩まで読んでしまいます。また、読書が好きで、朝から晩まで寝込んでしまいます。また、歯も丈夫で元気に過ごします。喜びを作ることを心がけています。



まとめ

★自宅のリビングや寝室にお風呂がやってくる「訪問入浴介護サービス」は、住みなれた自宅での生活を支える大切な介護サービスのひとつなんだね！

次回もおたのしみに



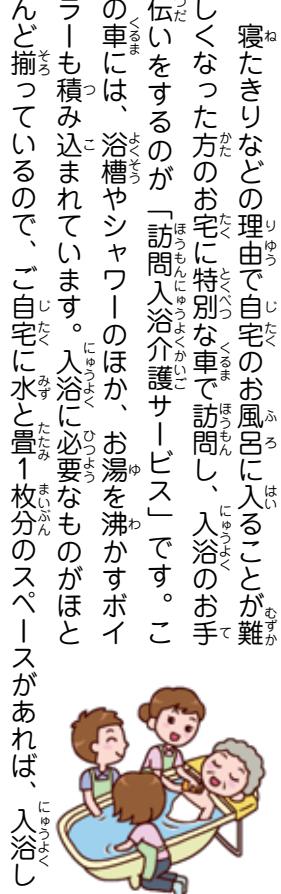
今回は訪問入浴介護サービスを紹介するよ。



子ども向け企画

ケアの五輪

ごりん



介護の仕事には、どんな種類があるんだろ？
どうしてその仕事が必要なのかな？



寝たきりなどの理由で自宅のお風呂に入ることが難しくなった方のお宅に特別な車で訪問し、入浴のお手伝いをするのが「訪問入浴介護サービス」です。この車には、浴槽やシャワーのほか、お湯を沸かすボイラーや積み込まれています。入浴に必要なものがほとんど揃っているので、ご自宅に水と畳一枚分のスペースがあれば、入浴していただくことができます。

入浴中は身体をきれいにするだけでなく、和やかな雰囲気の中で心身ともにリフレッシュしていただけるように声かけをしています。プロの介護職員2名と看護職員1名がチームを組んでサポートするので、安心して入浴していただきたいと思います。